

平成28年度東郷町町政モニター
第1回アンケート結果

「町の財政状況について」

担当 総務部 総務財政課 財政係

東郷町 企画部 人事秘書課 広報広聴係

目的

東郷町では、第5次総合計画で目標として掲げている「参画と協働で自立するまち」を実現するため、財政の健全化を進めています。そのために、自主財源の確保、総合計画や行政評価と連動した予算編成、町有施設の長寿命化に取り組んでいます。また、町の財政状況を町民の皆さんにわかりやすく伝え、共有化することも目指しています。そこで、健全な財政運営の参考にし、ニーズに沿った情報をお届けできるようアンケートを実施することとしました。

総論

回答者の39%（9人）は町の財政状況に興味があり、48%（11人）がどちらかといえば興味があると回答しました。一方、どちらかといえば興味がないと回答したのは13%（3人）で、興味がない人はいませんでした。

町の財政状況を知る手段としては、広報とうごうが最も多く、91%（21人）でした。次いで、議会だよりが35%（8人）で、議員が発行する広報紙（議会だよりを除く）が26%（6人）、人づてが22%（5人）、町ホームページが13%（3人）でした。

興味のある内容や詳しく知りたい内容については、将来の展望であると回答したのは70%（16人）でした。そのほかは、決算が52%（12人）、当初予算が35%（8人）、町債が35%（8人）で上位を占めました。

町の財政状況をよりよくするために必要なことについて、61%（14人）が歳出を削減することと回答しました。予算を効率よく執行すると答えたのは57%（13人）で、歳入を増やすと答えたのは43%（10人）でした。そのほかの意見として、「議員、外部、内部の不要な役職の削減」等がありました。

財政状況の公表に関しては、「子どもにもやさしい内容を」「視覚的に分かりやすいグラフやイラストや表を使ってほしい」等の要望・提案をいただきました。

これらの意見を参考に健全な財政運営を進め、また財政状況の公表方法を見直し、よりニーズに沿った情報をお届けできるよう努めてまいります。

※比率はすべて百分率（%）で表し、小数点第1位を四捨五入して算出。

アンケート実施期間：平成28年11月16日から11月30日まで

回収率：88%（23／26 人）

年代別構成比（平成28年8月1日現在）：

	男	女	
30代	3	6	
40代	1	6	
50代	1	3	
60代	1	1	
70代	0	1	
合計	6	17	23

第1回アンケート「町の財政状況について」結果

※回答単位：人

※自由記入欄については、原文のまま引用しています。

1 町の財政状況に興味がありますか。【選択】

ある	9
どちらかといえばある	11
どちらかといえばない	3
ない	0

2 町の財政をどう思いますか。【選択】

よい	0
どちらかといえばよい	8
どちらかといえば悪い	10
悪い	2
わからない	3

3 (質問2に対して)なぜ、そう思いますか。【複数選択】

広報紙やホームページを見て	15
人から聞いた	4
なんとなく	5
そのほか(自由記入)	1
予算、決算を知る人たちと話す機会が多い中で。	

4 町の財政状況をどのような手段で知りますか。【複数選択可】

広報とうごう	21
議会だより	8
役場前の掲示板	0
町ホームページ	3
国または県のホームページ	0
その他のホームページ	0
議員が発行する広報紙（議会だよりを除く）	6
人づて	5
新聞または雑誌	0
知らない	0
そのほか（自由記入）	0

5 このアンケートより前に広報とうごうに掲載している情報で見たことがあるものを教えてください。【複数選択可】

2016年2月号 クローズアップまちづくり「持続可能なまちを目指して～町の財政10年の歩み～」	11
2016年4月号 予算	10
2016年5月号 財務書類	6
2016年7月号 まちの家計簿	14
2016年8月号 東郷ふるさと寄付	16
2016年11月号 決算・健全化判断比率	8
なし	1

6 質問5に挙げている記事を見てから回答してください。分かりやすかった記事、分かりにくかった記事は何ですか。また、その理由も教えてください。(自由記入)

2016年2月号 クローズアップまちづくり「持続可能なまちを目指して～町の財政10年の歩み～」について
<ul style="list-style-type: none"> ・10年の変化をグラフ表示がどれくらい変わったかが分かりやすかったです。理由としては近所の店や住居等、周りの変化も比べながら見る事もできるのも良かったです。
2016年4月号 予算 について
<ul style="list-style-type: none"> ・4月号の「予算」は今年度の町の取り組みが具体的に掲載されており分かりやすかった。 ・わかりやすかった。大まかな説明から具体的な事業名まで落とし込まれていたため、身近に感じる事ができたから。
2016年5月号 財務書類 について
<ul style="list-style-type: none"> ・分かりにくかった。 ・分かりにくい。数字が並べられているだけの表が見にくい。
2016年7月号 まちの家計簿 について
<ul style="list-style-type: none"> ・7月号は例えがわかりやすかった。 ・分かりやすかった。見てすぐわかる。 ・分かりやすい。例えられているのでイメージしやすい。 ・まちの家計簿が自分達の生活に例えられていてわかりやすかった。 ・「まちの家計簿」はグラフや、具体的な数値があり、分かりやすかった。 ・家計簿として一般家庭をモデルとして比較しているが、言葉が分かりづらく、また表が見づらい。 ・まちの家計簿で、借入をしてまで、預金を増やす理由がわからなかったです。借入が余ったとしても、少し多すぎるような気がします。
2016年8月号 東郷ふるさと寄付 について
<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすかった。 ・8月号はカラー写真でわかりやすい。 ・写真付きで紹介してあり、分かりやすかった。 ・ふるさと寄付は実際の商品がカラー写真で掲載されていたのでわかりやすかった。 ・東郷でもふるさと納税の返礼品をはじめたのは知らなかったなので、分かりやすかった。 ・魅力的な品物がないので、もっと他県が納税したいものを探して頑張ってください。 ・時代はふるさと納税に光が差しています。近隣との比較などの記事を載せていただくと更に興味深くなります。
2016年11月号 決算・健全化判断比率 について
<ul style="list-style-type: none"> ・言葉が分かりにくい。 ・町の財政状況は悪い状態ではないというものの健全化判断比率と資金不足比率につい

ては、速報値を使用しているということなので、早期に正式な数字を入手し確認をしていただきたい。

全般のご意見等

- どの号もわかりやすいです。
- 分かりにくかった記事は特になし。
- わかりにくかった記事は無いです。
- 記事（長々と文字を書いていない）所で分かりやすい。長々と書いてあると分かりにくいし読む気をなくす為。
- 全てわかりやすく作ってあると思います。しかし、広報は大体毎月目を通していますが、見たことはあるがあまり記憶に残っていないものばかりです。もっとお年寄りから子どもまでわかりやすく興味を持てるような内容にして欲しいです。
- 細かな数字が多いと思いました。ざっくりでも良い気がいたします。
- 特に無し。分かりやすかったとも、分かりにくかったとも感じなかった。

※そのほか「見てないので回答不能」「分かりやすかったのは夏祭りや産業文化祭などのイベント関係。分かりにくかったのは、議会でのやりとり」の回答がありました。

7 このアンケートより前に町ホームページに掲載している情報で見たことがあるものを教えてください。【複数選択可】

当初予算	4
補正予算	5
決算	4
健全化判断比率・資金不足比率	2
財務書類	2
財政状況資料集	2
東郷ふるさと寄付	12
なし	10

8 質問7に挙げているページを見てから回答してください。分かりやすかったページ、分かりにくかったページはどれですか。また、その理由も教えてください。(自由記入)

健全化判断比率・資金不足比率 について
<ul style="list-style-type: none"> ・東郷町の状況が赤字なし、とか表示なしとあるだけで悪く無いという判断が分かりにくい。 ・健全化判断比率・資金不足比率は勉強不足のため、よく理解できなかった。例えば、他の市町村と比べどうなのかも分かるかというのいいのかも？
財務書類 について
<ul style="list-style-type: none"> ・分かりにくかった。 ・見方がわからない方には理解しにくい。
東郷ふるさと寄付 について
<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすかった。 ・写真は一目瞭然。 ・ふるさと寄付に興味を持つことができた。 ・お礼品一覧でカラー写真つきで見やすくていい。 ・トピイと写真がたくさん掲載されていて分かりやすい。 ・写真や図と共に説明があり、読みやすくわかりやすかった。 ・ふるさと納税のしくみや、お礼品が分かりやすかった。ただ、お礼品に魅了を感じなかった。 ・ふるさと納税商品、ジャムは試食しました。女性向きでとても美味しかったです。もっとPRすべき。 ・ふるさと納税はみんな関心があるから、どんどんアピールする必要があると思う。まだインパクトに欠けてる。
そのほか、全般のご意見等
<ul style="list-style-type: none"> ・面白い。

- ・わかりやすいです。
- ・全てわかりやすく作成してあるとは思いますが。ただ質問6と同じく、数字の報告は難しい内容が多く、見たことはあるがあまり頭に残らないとってしまうものばかりなので、もっと見て楽しい興味が持てるものにして欲しいと思います。
- ・予算は難しい。
- ・全体を通して、数字が多すぎる印象でした。
- ・はっきり言って、町の財政状況の確認はしていません。見たからと言ってどうしようもないため。ふるさと納税は、旬の話題でありみえています。
- ・ホームページは日頃見ない。
- ・あまりホームページまで開いてみないので。
- ・ホームページをわざわざ見て、財政状況を確認しようとは思わない。

※そのほか「なし」、「特に無し」、「特にありません」、「見てないので回答不能」の回答がありました。

9 財政状況について、興味のある内容や詳しく知りたい内容を教えてください。【複数選択可】

当初予算（1年度の収入・支出の計画）	8
補正予算（年度の途中で必要に応じて変更した収入・支出の計画）	6
決算（1年度の収入・支出の報告）	12
健全化判断比率・資金不足比率（自治体の財政の健全性を示す指標）	5
財務書類（企業会計の考え方に基づいて作成された財務資料）	5
町債（借金の状況）	8
基金（貯金の状況）	5
将来の展望	16
そのほか	1
・他の行政と比較してどうなの。ピンとこない。	

10 町の財政状況をよりよくするためには何が必要だと思いますか。【複数選択可】

歳入（税収や税外収入）を増やす	10
歳出（支出）を削減する	14
予算を効率よく執行する	13
町債（借金）を減らす	6
基金（貯金）を増やす	2
そのほか	2
<ul style="list-style-type: none"> ・議員、外部、内部の不要な役職の削減。 ・町民に協力してもらい、募金を行う。カーテンを開けて、昼は、電気をつけない。 	

1 1 分かりにくい財政用語について、分かりやすく伝えるためには、どのような工夫が必要だと思いますか。(自由記入)

・用語の解説をその都度載せる。
・※をつけて、近くに説明する。
・具体的な例があると分かりやすい。
・7月号のような作り方はなじみやすい。
・下とか空いてる場所に単語＝意味などをつけてみては？
・但し書きをつけたり、図にて目で見てわかりやすくする。
・イラストや図をもっと使っていただいて良いと思います。
・難しい用語は使わない。イラストも添えて興味を持ちやすくする。
・欄外に「用語解説」を設けて、誰にでも分かるような言葉で解説する。
・くり返し伝えるか、まちな家計簿のように、何かに例えるかだと思います。
・アニメやキャラクターを使って用語の解説をする。例などをあげて、理解しやすくする。
・子ども目線で考えたら、誰でもわかると思う。現状では簿記を知らない人はわかりづらい。
・身近な物や事に例える等、想像しやすい例を利用すると読み手の理解を助けるかもしれない。
・作成した人以外で、全くわからない人に見せてその人が理解できるかどうか確認するのはどうでしょうか？
・中学生が読んでもわかるような言葉で伝える。そうすれば子どもたち自分達の町のことに興味を持つと思います。
・分かりにくい用語は後ろのページにより詳しく、例題みたいな事も含めながら説明すると分かりやすいのではと思います。
・今の時代財政に興味のある方は、ある程度の知識、もしくは調べる能力があると思うので、あまり解説をする必要はないと思う。
・財政用語解説 説明欄があると理解しやすくなると思います。不動産用語も難しく、その様なページ添付されてることが多いです。
・財政用語そのものの説明よりも、実際の生活の中でどの出来事が税金を使っていることなのか知る事が出来れば身近に感じられると思う。
・相手がわかる言葉で伝えることが必要である。伝えているつもりでも伝わっていないことが多い。これは、職場でも、世間でも同じことである。
・財政用語は中に携わっている人には、当たり前かもしれませんが、一般の町民には難しく、ただで飛ばしてしまいます。まして、若い人は見ないです。家計簿に例えた説明は、まだ分かりやすかったです。この様に、分かりやすい言葉で、若い人にも目に止まる

興味のある様な工夫が欲しいです。
・広報の文章の中で出て来た財政用語に※などをつけ、文章の最後が最後のページに解説する。出て来た用語だけでなく、良く使う分かりにくい用語もいくつか取り上げて解説するページも作る。掲載が何回か重なっても良いと思う。
・今は思い浮かばない。

12 たくさんの人に財政状況を知ってもらうには、どのような方法が効率的だと思いますか。【複数選択可】

広報とうごうへの掲載内容を改善する	16
広報とうごうへの掲載回数を増やす	7
ホームページへの掲載内容を改善する	6
SNS を利用する	4
冊子を作って配布する	5
そのほか	3
<ul style="list-style-type: none"> ・地区の掲示板に載せる。 ・議員さんの腕の見せ所。 ・子どもたちにも目の引く、例えばトッピィのイラストで分かりやすく説明して、地区に回覧板を利用して配布するとか…。 	

1.3 財政状況の公表に関する要望や提案があればご記入ください。(自由記入)

<p>・子どもにも優しい内容を。</p>
<p>・端的な活字。明るさを感じるレイアウト。</p>
<p>・どこにどれくらい使って、その効果も報告すべき。</p>
<p>・分かりやすく伝わりやすい雑誌で、町の財政状況がより分かればいいなと思います。</p>
<p>・子育て世代は忙しく、じっくり読み込む時間も無いので視覚的に分かりやすいグラフやイラストや表を使って、取っ掛かりやすいようにしてほしい。</p>
<p>・今後数年にわたって、道の駅建設やららぼ一と誘致関連事業などで、何にどれくらいの財政負担が予想されているか、また逆にどれくらいのメリットがあるか試算を示してほしい。</p>
<p>・町の財政に関心を持っている者がどのくらいいるのか疑問である。広報に記載されていますが、小学生から高齢者までがわかるような図式の冊子を作っていただき、発行されてはどうでしょうか。</p>
<p>・財政状況の公表に関しては、今のままでも十分だと思います。広報で概要を、詳細を確認したい人はHPで"探しやすく"公開されていれば十分です。ただし広報にある解説は、町の思惑が少なからず入ると思うので、フラットな解説のみをお願いします。外部の意見などもあれば分かりやすいです。</p>
<p>・子育てするなら東郷と掲げるくらいなんだから、保育園、学校を通して親の世代に財政状況がわかるようにメールで配信。意見の吸い上げが出来る状況が欲しい。お金をかけるべきことは生活の中で分かること。医療費の助成だけでなく、もっと未来の子どもに残せるもの、未来に投資出来るものは何か考えるべきだし、それを、親と一緒に考えるべき。</p>
<p>・財政状況の公表と言って、収支の数字を公表するだけでなく、その金額が出た内訳、理由などを知らせるといいと思う。例えば、近年話題になっていて、町民の関心が高い、ららぼ一とや道の駅等。それらの建設にかかる費用は莫大な金額だと思います。まずは借金を作ることになるが、それができることによって、その後財政がどのくらい良くなるのか…というような内容であれば、町民の関心も高まり、理解してもらえるのではないのでしょうか。</p>

※そのほか「特になし」、「特にありません」の回答がありました。

※アンケートについて、回答の途中でクリック等の操作をしないまま30分以上放置するとタイムアウトしてしまう仕様を、改善してほしいというご意見がありました。また、回答の前に目を通す資料(広報とうごうや町ホームページ)が多いというご意見もいただきました。